

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ニプロ経腸栄養バッグ (ドリップチャンバなし)

再使用禁止

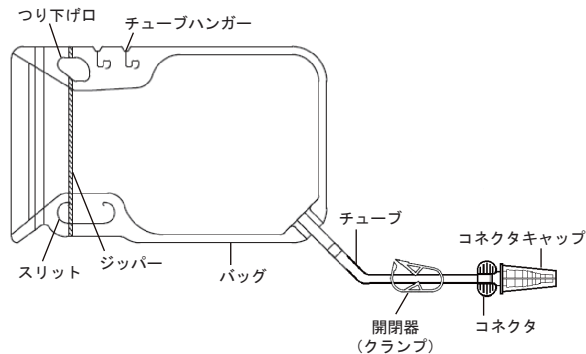
【禁忌・禁止】

1. 使用方法
1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は、コネクタ、チューブ、開閉器（クランプ）、バッグで構成される。



2. 材質

コネクタ	アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体
チューブ	ポリ塩化ビニル
バッグ	ポリエチレン

ポリ塩化ビニルの可塑剤はトリメリット酸トリ-2-エチルヘキシルである。

【使用目的又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して経腸栄養剤を投与する器具をいう。

【使用方法等】

1. 包装を開封し、本品を取り出します。
2. 開閉器（クランプ）を閉じます。
- *3. バッグの充填口を開いてから経腸栄養剤を充填します。
4. 経腸栄養剤を充填後、ジッパー部の表と裏を指で押しつけるようにしながら充填口をしっかりと閉じます。
5. コネクタキャップを外して、コネクタを経腸用輸液セット等に接続し、開閉器（クランプ）を開放し経腸栄養剤の投与準備をします。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 接続部への経腸栄養剤や医薬品等の付着に注意してください。
[接続部の緩み等のおそれがあります。]
2. バッグの容量を超える量の経腸栄養剤を充填しないでください。
[バッグの破損及び漏れが発生するおそれがあります。]
3. バッグに経腸栄養剤を充填した後はすぐに使用してください。
4. 経腸栄養剤を充填する際は、不溶解物等がないことを確認してください。
[流路内で詰まるおそれがあります。]
5. 経腸栄養剤充填後は、落下菌混入等を防ぐためにすぐに封をしてください。
6. バッグの目盛りは目安として用いてください。

7. 経腸栄養剤充填後のバッグは必ず吊して使用し、横転等は避けてください。
[ジッパー部から漏れるおそれがあります。]
8. 投与を一時停止又は終了する際には、接続する経腸用輸液セットで操作してください。
9. チューブと硬質部品の接合部付近で鉗子、又は開閉器（クランプ）を操作しないでください。
[チューブの破損、接続部の外れ等が発生するおそれがあります。]
10. 本品に経腸栄養剤を充填した状態での長時間の保管及び投与の中断は避けてください。
[投与の再開後、開閉器（クランプ）部分のチューブの変形、閉塞により投与ができなくなる、内圧上昇による破損、経腸栄養剤の汚染等のおそれがあります。]
11. 投与中に詰まりが認められた場合は、使用を中止し、新しい製品に取り替えてください。
12. チューブハンガーは用途に応じて使用してください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- *1) 経腸栄養剤によっては1滴あたりの容積が異なるおそれがあるため、注意すること。
- 2) 粘度の高い経腸栄養剤は自然落下式で使用可能であることを確認してから使用すること。
[本品は自然落下式であり、ポンプ用ではありません。]
- 3) 本品は合成樹脂製のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。
[破損するおそれがある。]
- 4) チューブが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないこと。
- *5) チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないこと。また、注射針の先端、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意すること。
[液漏れ、空気混入や破損のおそれがある。]
- 6) コネクタを接続する際は、過度な締め付けをしないこと。
[コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損するおそれがある。]
- 7) 患者の体位変換等により接続部が外れないよう注意すること。
- 8) 経腸栄養剤や医薬品の投与中は問題なく流れていることを定期的に確認すること。

*2. 不具合・有害事象

- 1) その他の不具合
 - (1) 液漏れ
 - (2) 空気混入
 - (3) 破損
 - (4) 接続部の緩み
 - (5) 詰まり
 - (6) 経腸栄養剤の汚染

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。
有効期間：滅菌後3年（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

電話番号：06-6372-2331（代表）

製造（輸入先）

ニプロ・タイランド・コーポレーション

[Nipro (Thailand) Corporation Limited]

タイ王国

[Thailand]



ニプロ株式会社